

## 投稿の手引き

1. 原稿はMS-WORDを原則とし、テンプレートにならって作成する。
2. 原稿には、和文題目、英文題名、漢字著者名、ローマ字（略さず）著者名をこの順に書き、脚注として所属官署を和文と英文で書く。つづいて、英文アブストラクト、和文本文（図・表・写真とその説明を含む）、文献の順に記す。1ファイルにする必要はない。英文アブストラクトの和訳、図表名とその説明の和訳は別ファイルとする。ただし、報文、雑報の場合アブストラクトは省くことができ、図表等の説明は和文のみでよい。文献はそれがなくなると省くことができる。
3. 英文アブストラクトは、目的、仮定、方法、結論等を明確に書き、本文の数式、図表等は引用しない。
4. 本文
  - 4.1 節の切れ目は1行あける。
  - 4.2 節の見出しはゴシックとし、各節の本文は新しい行から1文字あけて書き始める。
  - 4.3 句読点には、（ピリオド）、（コンマ）を使用し、。、は使用しない。
  - 4.4 人名、地名の読みにくいものには振り仮名を付ける。
  - 4.5 数式、特に本文中の数式は、その前の文と行間が1行程度になるように調整する。数式が続く場合には行間を開ける必要はない。
  - 4.6 単位は原則として国際単位系（SI）を使用する。
  - 4.7 暦年は原則として西暦を用いる。また、人名の敬称は原則として省略する。
5. 図・表・写真
  - 5.1 図等の表題・説明は、論文の場合は原則として英文で、その他の場合は和文で書く。図表中の文字、記号はもれなく説明する。また、必要な単位は必ずつける。
  - 5.2 図等には、図1、Fig. 1、表1、Table 1のように通し番号を付ける。
  - 5.3 製版後は図の修正は不可能なので、注意すること。
6. 文献

文献は、本文の末尾に原則として次の形式にしたがって列記する。並べる順序は和文を先にして50音順、続いて欧文をアルファベット順に並べる。

雑誌 著者名（西暦年）：表題、雑誌名、巻数、号数（原則として省略）、ページ-ページ。  
単行本 著者名（西暦年）：書名、第何版、発行所、総ページ数（または引用ページ）。

（例）

安藤邦彦（1992）：表面現象から見た近年の伊豆大島の火山活動の期間とその特徴、*駿震時報*, **55**, 139-156。  
宇津徳治（1985）：*地震学*, 第2版, 共立出版, 310pp。  
Hull, A. G and C. Nicholson (1992): Seismotectonics of the Northern Elsinore Faults Zone, Southern California, *Bull. Seism. Soc. Am.*, **82**, 800-818.

平成25年3月1日発行

編集兼発行人

気 象 庁

東京都千代田区大手町1丁目3-4

印刷所

株式会社アイガー

東京都早稲田鶴巻町563-22 アイガービル

# Quarterly Journal of Seismology

Vol.76 Nos.3~4      March 2013

## Contents

### PAPERS

- Examination of Travel Time Correction and Magnitude Correction of Tonankai Ocean Bottom Seismographs for Earthquake Early Warning  
 ..... Naoki HAYASHIMOTO and Mitsuyuki HOSHIBA      69

### REPORTS

- Introduction of the New Volcanic Observations and Information Center System (VOIS)  
 ..... Toshiyuki MATSUMORI      83

- Significance of Trial Boring at Borehole-Type Volcano Observation Station  
 ..... Koichiro SAITO, Seiichiro HONDA, Jun'ichi MIYAMURA,  
    Kazuya KOKUBO and Makoto SAITO      133

- Development of TSUNAMIDEEXCEL, a Tsunami Simulation Program using Microsoft Excel  
 ..... Masaaki MINAMI      161

- Attenuation Region Presumed by the Feature of Waveforms of Earthquakes around Kurikomayama Volcano  
 ..... Minoru FUNAKOSHI, Toru KOBAYASHI and Koji NAKAMURA      165

- The Structure of Crustal Movement Observation Records  
 ..... Kazuhiro KIMURA, Hiroaki KATAYAMA, Jun FUJIMATSU,  
    Issei SUGANUMA and Takanori AKASHI      175

### NEWS

- Research of "Prediction," "Forecast" and Similar Signification Words  
 ..... Daisuke MUTO, Jun FUNASAKI and Takashi YOKOTA      189

Published  
 By

The Japan Meteorological Agency  
 c/o Seismological and Volcanological Department, JMA  
 1-3-4 Otemachi, Chiyoda-ku, Tokyo 100-8122, JAPAN